

クイーンズランド州教育省 訪問

聖徳学園高等学校 校長補佐・データサイエンス部長 ドウラゴ英理花

1 はじめに

私立学校教員海外研修団は、2024年9月6日、視察先であるクイーンズランド州教育省（Department of Education Queensland）を訪問した。

クイーンズランド（QLD）州教育省は、QLD 州における教育関連の政策策定、管理、実施を担当する政府機関である。主に初等教育、中等教育、特別支援教育、及び幼児教育に対する支援を提供している。

説明に先立ち、シニア・プログラム・スーパーバイザーを務める Jack Leung 氏よりウェルカム・スピーチを頂いた。続いて、デジタル・バーチャル学習の共同リーダーである Glen Watt 氏から QLD 州教育省の概要、教育現場でのデジタル技術や生成 AI の導入、教員の能力向上を図るプログラムを推進、及び生徒がその潜在能力を最大限に発揮できる環境整備に関する ICT を活用した教育政策の説明が行われた。

2 概要

QLD 州には約 1,264 の公立学校（2024 年現在）¹があり、これには小学校、中学校、特別支援学校が含まれる。全ての公立学校は QLD 州教育省の指導のもと運営され、学区ごとにカスタマイズされたカリキュラムが提供されている。

また、QLD 州教育省は、州内の職業教育訓練（VET: Vocational Education and Training）や高等教育にも支援しており、特に QLD 州内の TAFE（Technical and Further Education）機関との連携が強いことが特徴である。この協力により生徒たちは職業訓練や技術教育の分野で幅広い学習機会を得ることができる。

さらに、QLD 州教育省は多文化教育やインクルーシブ教育を推進しており、異なる文化背景を持つ生徒や、特別な教育支援が必要な生徒に対しても平等に教育の機会を提供している。加えて、地域社会との連携を重視し、地元企業やコミュニティと協力して、体験学習や学校外での学びの場を提供することで、学校内外での多様な学習環境の整備に努めている。



ウェルカム・スピーチ

¹ State school statistics, Queensland Government, <https://www.qld.gov.au/education/schools/information/research/statistics>（参照 2024.09.12）

3 教育政策

QLD 州教育省は現在、以下の 3 領域に焦点を当て、教育の向上を目指している。

- (1) 教育成果 (Educational Achievement) : すべての生徒が学習の可能性を最大限に発揮できるよう、平等な学習の機会とリソースを提供する。
- (2) ウェルビーイング (Wellbeing and Achievement) : 生徒の心身の健康を支え、学習の基盤としてウェルビーイングを重視したプログラムやサポートを提供する。
- (3) 文化とインクルージョン (Culture and Inclusion) : 多様性を尊重し、全ての生徒が包摂された環境で学べるよう、文化的な理解と支援を強化する。

どの領域も、より良い教育を提供していく上で重要であるが、QLD 州教育省では、地方やリモート地域に住む生徒にも、都市部と同じ教育機会を提供するため、デジタル技術を活用した取り組みを進めている。地方にある少人数校では教師が複数の学年や科目を教えることが多いため、オンライン学習を通じて専門外の教科をカバーする支援を実施されている。これにより、生徒が将来の選択肢を広げ、グローバルな視点を育むことが期待できる。また、都市部の大規模校でも、デジタル技術を活用して教育の質をさらに高める取り組みが行われていることから、QLD 州教育省は「Equity and Excellence (平等と卓越)」を掲げ、すべての生徒がその潜在能力を最大限に発揮できるよう支援しているだろう。



Glen Watt 氏による教育概要

4 Glen Watt 氏の学習モデルについて

Watt 氏は自身が考案した効果的な教育方法を 6 つのステップで構成した学習モデルを用い、いかにして生徒を知識の暗記だけでなく、その応用や創造的な問題解決に導いていくかを説明した。ステップとしては、以下の 6 段階がある。

- (1) inquire (探究) : 興味を引きつける
- (2) model (モデル化) : 知識を提示する
- (3) practice (練習) : 理解を確認する
- (4) application (応用) : 応用力を高める
- (5) connect (連携) : 学習内容を深める
- (6) transform (変革) : 知識を統合して変革する

これらのステップを繰り返し、または組み替えて行うことにより、生徒は学びを強化し、将来的に課題解決能力やクリエイティビティを高めることが期待できるとした。また、教師はこのモデルを使い、授業を計画し、効果的に進めることで、生徒の学習成果を最大化することが可能であることを付け加えている。

5 教育現場における生成 AI の活用について

現在、QLD 州教育省では、生成 AI の活用に慎重なアプローチをとりつつ、教育現場での導入を進めている。教師は生成 AI を利用して授業計画の作成や教育アイデアの参考にしているが、生徒の利用に関してはまだ許可されていない。

これは、1,200 を超える公立学校に対して、適切な規制とポリシーの制定が、まず初めに整備する必要があるためとしている。また、AI の使用に関しては「人間が最終的な判断を下す」という原則が重視され、AI が生成した情報を批判的に評価できる力（批判的思考力）を習得することが重要であることを指摘している。

このように、QLD 州教育省は生成 AI の潜在能力を評価しながら、教員の実践的な利用を奨励しており、今後は生徒への段階的な導入も視野に入れている。この取り組みを通じて、AI 技術が教育にどのように付加価値をもたらすかを模索し、全体的な学習環境の向上を目指している。

5 おわりに

QLD 州教育省における生成 AI やデジタル学習技術の教育現場への導入、さらにはウェルビーイングや文化的インクルージョンを強化する取り組みは、データ駆動型社会における日本の教育改革においても大いに参考になる。今回の訪問で得た教訓を踏まえ、特にデジタル技術や生成 AI の教育現場での活用に関する知見を、自らが担当するデータサイエンス教育に積極的に取り入れたいと考える。

データサイエンスは、次世代を担う生徒たちにとって、単なる技術的な知識の習得にとどまらず、データの読み解きや課題解決能力の向上に資する重要な教育である。視察を通して得た先進的な教育手法や技術を応用することにより、より良いデータサイエンス教育が実践できると考えられることから、今後の授業設計や教材開発に今回の研修で得た知見を生かし、より実践的で効果的な学習環境を生徒たちに提供していく所存である。



QLD 州教育省の方々と視察団

参考： <https://eqi.com.au/> (Education Queensland International HP)